

J R 武田尾駅バリアフリー化事業

都市安全部 道路政策課

1 事業概要

J R 武田尾駅は、北部地域唯一の鉄道駅であり、バス路線との交通結節点として重要な役割を果たしています。一方で地上約 10mにある高架駅でありながらエレベーターやエスカレーターがなく、高齢者や障害のある人等の利用が困難な駅であるため、すべての利用者が安心して安全に利用できる駅になるようにバリアフリー化を図っていきます。

(1) J R 武田尾駅バリアフリー基本構想

バリアフリー基本構想の作成では、J R 武田尾駅だけでなく、道路や公園等の公共施設、高齢者、障害のある人等が利用する公共的な建築物等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、J R 武田尾駅を中心とした地区を重点整備地区の区域に定め、バリアフリー化を図る経路（生活関連経路）、バリアフリー化のために実施すべき事業の内容等を定めます。

(2) エレベーター設置等に伴う概略設計

概略設計では、J R 西日本の協力を得た上で、地質調査、測量調査等の調査を行い、エレベーターや付随する構造物の設置位置など、駅施設の概略設計と概算工事費の算定を行い、駅のバリアフリー化の実現可能性を検討します。

2 バリアフリー法との関係

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下、バリアフリー法という。）第 25 条において、市町村が当該市町村の区域内の重点整備地区について、移動円滑化に係る事業の重点的かつ一体的な推進に関する基本的な構想（基本構想）を作成することができることとなっています。

バリアフリー法に基づく、バリアフリー基本構想を策定することで、鉄道駅のバリアフリー施設の整備に対する国の補助制度である「鉄道駅総合改善事業」の補助率上限が 1/3 から 1/2 へ引き上げられます。

3 事業費（予算要求額）

8 土 2 道 1 道 13 委	5,533 千円(J R 武田尾駅周辺バリアフリー基本構想策定委託料)
〃	25,100 千円(J R 武田尾駅バリアフリー設計委託料)

